

13 笠コンフレーション

NETIS
CB-990025-V

水路、河川や湖沼などの護岸には、鋼矢板、コンクリート矢板による工法が用いられています。矢板の設置後には、上端部を”笠石”としてコンクリートが現場打ちされています。

このような現場条件は一般的には、矢板工の前側は水辺で、後側の陸地は法面などで狭くなっており、とりわけ、前側の水辺では水位や流速が変動し、かつ強風による波浪を受けるなど、悪条件での、舟などによる型枠の設置や、配筋の作業はかなり厳しいものです。

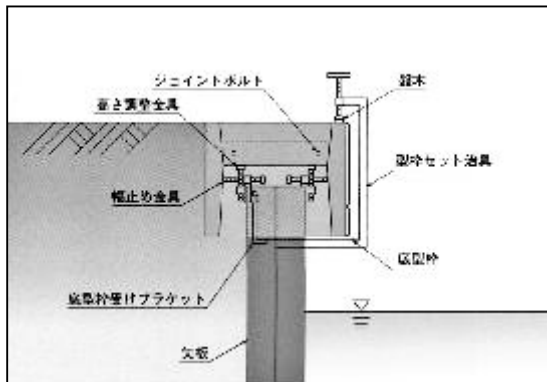
これらの課題を一挙に解決し、更に修景や省資源もできるのが、”笠コンフレーション”です。

笠コンフレーションの特長

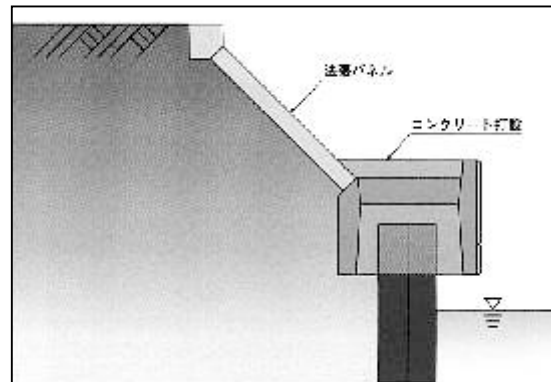
1. 工期の短縮が可能
 - ・型枠が不要で、さらに作業の機械化ができます。
2. 陸地側からすべて施工が可能
 - ・水位、流速、流量、風速に影響されません。
3. 景観にも対応できます
4. 省資源ができます
 - ・型枠の木材などが不要です。
5. 広幅型・ハット形鋼矢板にも対応

施工・使用例

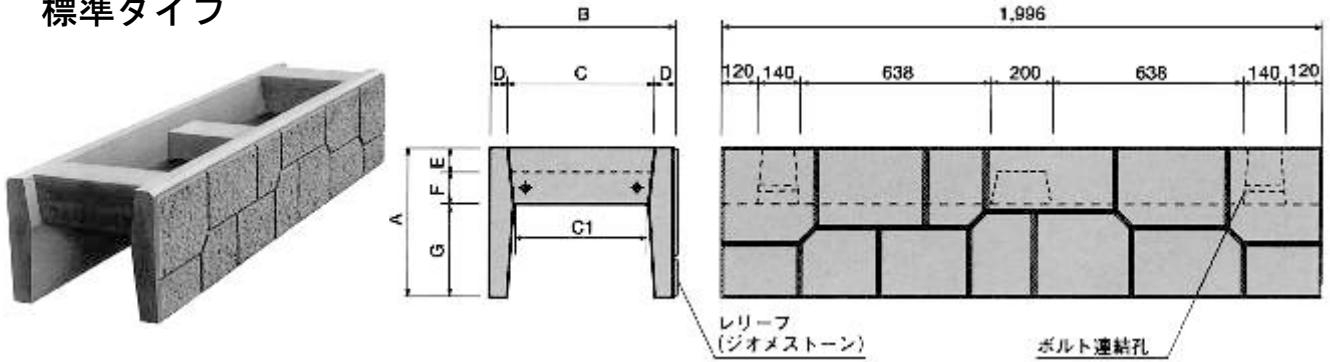
標準施工図



法止使用例



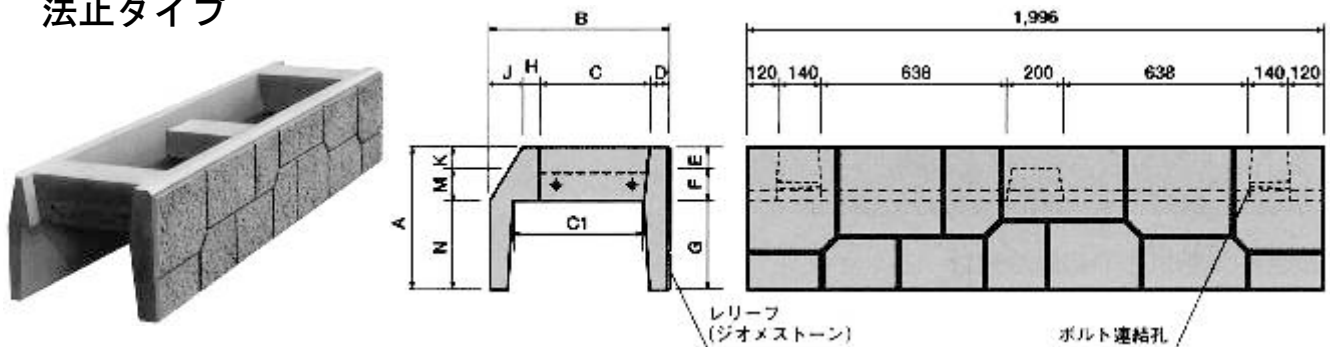
標準タイプ



寸法(mm)								参考質量 (kg)	中詰めコンクリート量 (m ³ /本)	適用タイプ															
A	B	C	C1	D	E	F	G			IA	II	IIA	IIW	III	IIIA	IIIW	IV	IVA	IVW	VL	VIL	10H	25H		
400	500	380	370	60	60	90	250	330	0.28	●															
400	550	430	420	60	60	90	250	340	0.32	●	●														
450	550	430	420	60	60	90	300	370	0.36	●	●														
500	600	480	460	60	80	110	310	430	0.44	●	●	●	●	●								●			
500	700	580	560	60	80	110	310	450	0.53				●	●	●								●		
600	700	580	560	60	80	110	410	520	0.65				●	●	●								●		
600	800	680	660	60	80	110	410	540	0.76						●		●	●	●	●					

*上記表は、矢板工における施工管理基準（±100mm）に基づく適用参考例です。上記以外の適用についてはお問い合わせ下さい。
 *質量は表面模様付きの質量を示しています。

法止タイプ



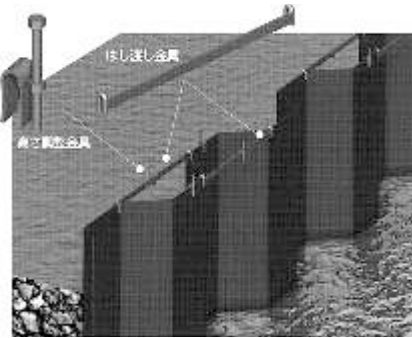
(ご注意) 上図はサイズ500×610以上を示します。400×500は形状が若干異なります。

寸法(mm)													参考質量 (kg)	中詰めコンクリート量 (m ³ /本)	適用タイプ															
A	B	C	C1	D	E	F	G	H	J	K	M	N			IA	II	IIA	IIW	III	IIIA	IIIW	IV	IVA	IVW	VL	10H	25H			
400	500	372	370	60	60	90	250	23	45	0	68	272	300	0.29	●															
500	610	400	451	60	80	110	310	50	100	80	120	300	480	0.41	●	●	●		●						●					
500	700	490	540	60	80	110	310	50	100	80	120	300	500	0.49			●	●	●	●		●				●				
500	750	540	591	60	80	110	310	50	100	80	120	300	500	0.54					●	●	●	●				●				
600	800	590	641	60	80	110	410	50	100	80	120	400	590	0.72						●		●	●	●						

*上記表は、矢板工における施工管理基準（±100mm）に基づく適用参考例です。上記以外の適用についてはお問い合わせ下さい。
 *質量は表面模様付きの質量を示しています。

施工手順

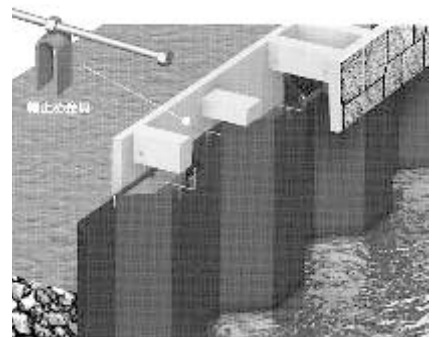
1. 高さ調整金具・はし渡し金具の取り付け



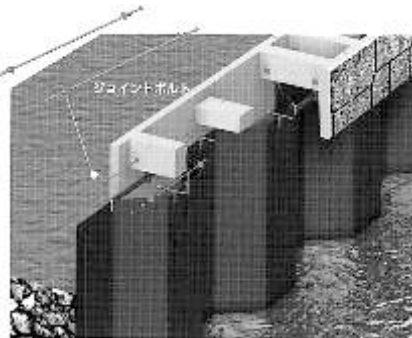
2. 製品据え付け



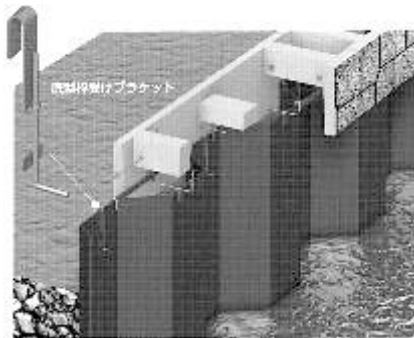
3. 幅止め金具の取り付け



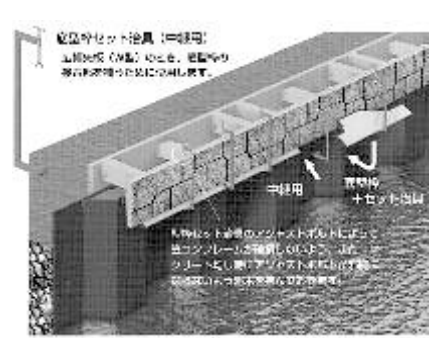
4. ジョイントボルトの取り付け



5. 底型枠受けブラケットの取り付け



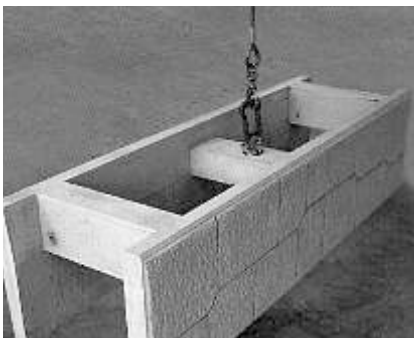
6. 底型枠の取り付け



7. コンクリート打設



● 施工用吊り金具



布設歩掛り

(100m当たり)

名称	数量(型枠あり)
世話役(人)	4.8
特殊作業員(人)	2.2
普通作業員(人)	20.2
型枠工(人)	1.5
ラフテレーン クレーン運転(日)	4.0
諸雑费率(%)	29

- (ご注意) 1. 上表の労務歩掛りは、高さ調整金具取付、ブロック連結、中詰コンクリート打設(型枠が必要な場合は、型枠設置・撤去)、養生等の労務を含みます。
2. 本歩掛りは、運搬距離30mまでの小運搬を含んでいますが、これにより難しい場合は別途考慮します。
3. ラフテレーンクレーンは賃料とします。
4. 諸雑費は、労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上します。なお、諸雑費に含まれる内容は次の通りです。

[諸雑費]

基準碎石の敷設・転圧労務、基礎碎石の材料投入労務・締固め機械運転経費、電力に関する経費、型枠特上(下)機械経費、バイブレーター・コンクリートバケット・電気ノコギリ・電気溶接機等損料、碎石・調整金具・連結金具・目地材・溶接棒・型枠材・剥離材等の材料費。

5. 諸雑費は、基礎碎石の有無によらず適用できます。ただし、敷均厚は10cm以下を基準とします。
6. 諸雑費の基礎碎石は、材料の種別・規格に関わらず適用できます。